

2nd ADAPTIVE FASHION SHOW 2024

with inclusive design
「Nothing is impossible」

企画書

一般社団法人日本アダプティブファッション協会
アダプティブファッションショー実行委員会

主催

一般社団法人日本アダプティブファッション協会
アダプティブファッションショー実行委員会

- **名称**

一般社団法人日本アダプティブファッション協会

- **代表**

田中 智之

- **法人所在地**

〒558-0056 大阪市住吉区万代東1丁目3番19号

(事務局) TEL 06-6690-5360 FAX 06-6696-9955

- **設立 2024年5月**

第一回関西学生アダプティブファッションショーの開催後、事業の継続のため一般社団法人を設立

- **事業内容**

アダプティブファッションの理解、必要性を広める活動を行う

自己紹介



はじめまして。一般社団法人日本アダプティブファッション協会と申します。

当協会は、重度の障害があっても「おしゃれがしたい」という想いを可能にするため、障害者向けファッション＝アダプティブファッションの啓発活動を行うべく、今年の5月に発足しました。

「アダプティブ」とは直訳すると「適応する」と言った意味です。「その人に適応する衣服」「ファッションがその人に適応する」そんなポジティブな意味で「アダプティブファッション」とグローバルに使用されています。

「障害」は不可能な理由にはならない。障害者が日常で感じる「障害」がさまざまな資源を活用し、「障害」と感じなければそれは、「障害者」と呼ばなくても良いのかもしれない。わたしたちは、そんな未来を”ファッションの力”で創っていきたい。

その想いの元、アダプティブファッションの必要性を社会に発信する活動を行っています。

目的

- 障害者が抱えるファッションの物理的、心理的なバリア無くす
- アダプティブファッションの必要性を多くの人に知ってもらう
- 未来を背負う学生が障害者との交流を通して社会問題について学ぶ
- 障害者の挑戦をサポートする

THA 1st KANSAI ADAPTIVE FASHION SHOW 2023
with inclsitedepign



第1回アダプティブファッションショーの様子

レストランシーン

海外のおしゃれなレストランや大人な夜景が綺麗なレストランなど、各チームそれぞれのコンセプトに合わせた素敵な衣装、且つよだれかけに見えないつけ襟風よだれかけやはきやすいスカートなど機能的な衣装になりました。



第1回アダプティブファッションショーの様子

ビジネスシーン

「仕事ができる人に見えるように」や「憧れの人みたいになりたい」という希望を最大限叶える衣装になりました。且つビジネスシーンでありながらスウェット生地のかっこいいスラックスや革ジャケットを着やすくアレンジし、機能的な衣装になりました。



第1回アダプティブファッションショーの様子

セレッソ大阪 サッカー観戦シーン

セレッソ大阪サポーターであるモデルの好きなカラーが使用されていたり「もっと応援アピールしたい」などの希望を最大限叶える衣装で、同じシチュエーションながら各チームそれぞれ個性溢れる素敵な衣装になりました。サッカー観戦時のお洒落な寒さ対策グッズや簡単に着脱できるズボンなど機能的にも優れた衣装に仕上がりました。



メディア掲載

日付	メディア名	タイトル	URL
2023/11/28	織研新聞	障害者におしゃれを	https://senken.co.jp/posts/kansai-adaptivefashionshow-231128
2023/12/8 2024/1/4	NHK	ニュースほっと関西 おはよう日本	https://www.nhk.jp/p/osaka-hot-kansai/ts/3GK4J7ZN6X/list/ おしゃれを楽しみたい！重い障害ある人のファッションショー NHK 関西のニュース
2024/3/8~3/20 投票期間		2024シャレン！アウォーズ開催決定【Jリーグをつかおう！社会のために。シャレン！Jリーグ社会連携】(jleague.jp)	

総括

- ・ 来場者や参加者からの賞賛が多く、好調な結果となった。
- ・ 取り組みの中で学生、モデル、スタッフともに様々な経験をし、学ぶことができた。
- ・ 多くの方に取り組み内容について知ってもらうことができ、今後の発展に繋がったと感じられる。
- ・ 制作期間が短く、ディスカッションの内容の連携に不十分な点があったため次回以降の反省点としたい。
- ・ 今後の開催において、スポンサーの確保が必要になる。

衣装のその後

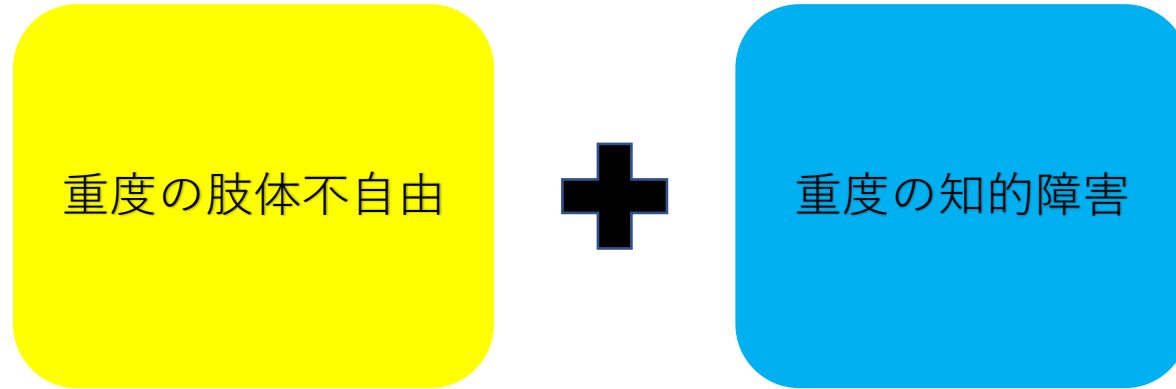
ファッションショーで使用された衣装はその後、サッカー観戦や旅行などモデルの実際の日常生活で活躍しています。



モデルの感想（家族、支援者含む）

- 緊張したけどみんなに知ってもらえて嬉しかった。
- もっとおしゃれをして出かけたかったと思った。
- もっとおしゃれ、かわいいと言われたかったと思った。
- 人生はじめてのスカートやヘアメイクに、とても表情がいきいきしていた
- 大人っぽくてとてもきれいだった。感動した。（娘が）
- おしゃれなのに着せやすくとても工夫されていた。
- 学生さんとモデルが同年代で普通の友達のように分け隔てなく接している姿を見て嬉しかった。こういった機会があっただけよかった。

重度心身障害ってなに？

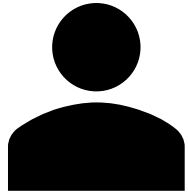


重複した状態

利用者さんの特性

- ・車いすユーザーも多い
- ・言葉のコミュニケーションが難しい方も多い
(コミュニケーション方法は表情や行動などさまざま)

利用者のファッションへの関心



知的障害がある方

意思表示が難しい方



周囲からはわかりにくい

- ▶そのため、介護者の着せやすさで選択することも多くなる。
でも、実はオシャレがしたいと思っている方も多い。
また、オシャレをして周囲から褒められることで自己肯定にもつながっている。

他にも、TPOに合わせた服装であるべき

例えば、パーティやオシャレなレストランなどに外出した際、機能性のみでジャージやスウェットでも何も言われない。

でも…

障害があっても、介護職で動きやすい必要性があっても、TPOに沿った装いをするべきである。それには環境（着やすいお洋服）が整う必要がある。

障害者のファッションへの課題

- ・よだれかけが必要。ハンカチやタオルに紐を通してよだれかけにしたり、バンダナを巻いたりしているがお洒落でなかったり、赤ちゃんのイメージがありかっこ悪く感じる。スカーフだと吸水性に欠ける
- ・着にくいと(介助者が着せにくいと)着やすさ重視で仕事でもお出かけでもジャージやスウェットが多くなる。
- ・車椅子で常に座っているので背中デザインは見えない
- ・車椅子で常に背中が背もたれについている状態なので厚手のニットやコートが蒸れたり熱がこもりやすく着れない
- ・常に座った状態だと立った状態のシルエットと違い、スカートやパンツの着用した時のイメージが変わる。
- ・麻痺があり腕が伸びないと丁度良いサイズだと着にくいいため本来より大きい服しか着れない
- ・小柄なので大人用だと大きいため子供用しかサイズが合わない。子供用だとデザインが子供っぽい気がする
- ・伸縮性がなかったりと(スーツやコートなど)着にくい服だと着替えにとても時間がかかり大変
- ・工夫がされているユニバーサルファッションの洋服は高価なものが多く、店舗も少ないので実物が見れないため購入しにくい
- ・靴のサイズは小さく大人用ではサイズがない。でもむくみがあるので子供用だと幅が小さい
- ・立位が大変なので座ったまま着脱ができれば良いのに
- ・機能性を重視した服ばかりを選んでしまうと、洋服選びの際種類が少ないので、いつも同じようなファッションになりがち。流行を取り入れにくい
- ・今まで障害があるからという理由でフォーマルな場に行くことも少なく、フォーマルな格好をする機会がなかったり、フォーマルな場でジャージやスウェットでも黙認されてきてしまった。でも仕事の幅が広がりフォーマルな格好が必要なが増えたので、同じようにフォーマルな格好をしないと恥ずかしいと思うようになった

インクルーシブデザインってなに??

- インクルーシブとは除外 (Exclude) の対極的な意味。高齢者、障害者、外国人など、従来デザインプロセスから除外されてきた多様な人々を、企画・開発の段階から巻き込んで (Include)、一緒に考えていくデザイン方法
- これから時代の流れにおいても、誰も特性を理由に排除されないよう社会が変わっていく必要がある 社会もその流れになりつつある

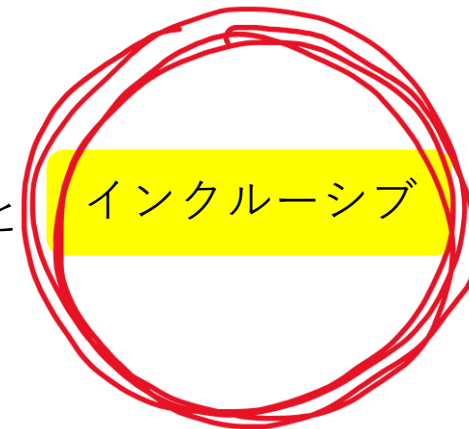
社会の関心 SDGs

サステナブル

当たり前化して
薄れてきている

ジェンダー

と インクルーシブ



アダプティブファッションってなに??

- アダプティブ(Adaptive)とは直訳すると 適応する という意味です。近年、世界では障害者向けウェアをAdaptive clothing、Adaptive wearと称します。服が人に適応するというポジティブな意味で使われています。
- 最近では、ファッション企業からも注目されている分野です。日本でも注目されてきているが、更にアダプティブファッションが広がり、商品が流通するには当事者の発信が必要となります。



出典「トミー ヒルフィガー アダプティブ」って、どんな服? | Fashion | madameFIGARO.jp (フィガロジャパン)



出典アダプティブファッションと逆の視点でつくる「車椅子の人を第一に考えて、みんなも使える」バッグと一緒に見て欲しい日常の姿 | HEAPS (heapsmag.com)

開催概要

- 第2回 学生アダプティブファッションショー2024 「Nothing is impossible」
- 日時 2024年10月12日(土)
- 会場 心齋橋パルコ14階スペース14

方針・内容

- 学生とモデル、パートナーのディスカッションを重ね、インクルーシブデザインの衣装を制作し、ファッションショーで披露する
- リメイクでの衣装制作

【参加学校】

- 大阪文化服装学院
- 大阪成蹊短期大学
- 京都女子大学
- 国際ファッション専門職大学
- 中部ファッション専門学校
- 上田安子服飾専門学校など

【参加学校（ヘアメイク）】

- 京都美容理容専門学校

【後援・協賛機関名】（予定）

- 大阪市
- 社会福祉法人大阪重症心身障害児者を支える会
- (株)セレッソ大阪
- パル財団
- (株)パル
- 清原(株)
- 東洋シール(株)
- (一社)大阪健康福祉事業推進センター
- (一社)SQC日本ハプティックセラピー協会

【コーディネーター・アドバイザー】

- 田中智之(デザインルームヒロセ)
- 大谷時正(元株式会社パル専務取締役)

制作スケジュール（予定）

- 4月～5月頃 説明会
- 6月 パル倉庫にて商品ピックアップ
- 第1回目学生・モデル(利用者)ミーティング*商品ピックアップと同時or前
- 7月～8月 中間アドバイス会
- 第2回目学生・モデル(利用者)ミーティング*オンライン含む
- 第3回目学生・モデル(利用者)ミーティング・リハーサル
- 10月12日 ファッションショー当日

広報方法

- ▶ ホームページ作成
- ▶ ウェブ広告（Instagram）
- ▶ 招待
- ▶ イベントバンク登録
- ▶ 地域のお店でのチラシ展示
- ▶ スポンサーからの広告
- ▶ 会場HPからの広告

【報道予定機関】

- ▶ 織研新聞

ステージ構成 (未定)

障害者のリアルな困りごとを想定

- ▶ パーティー、ウェディングドレスなど



- ▶ サッカー観戦シーン



- ▶ 音楽フェス、アウトドア、遊園地、女子会など



舞台構成 -株式会社white-

- 舞台演出
- 司会
- 音楽制作

ヘアメイク-total care mit liv

- 京都理容美容専門学校生徒
- 衣装デザイン、ヘア、メイクとそれぞれの学生とモデル、パートナーがチームとなりトータルコーディネート完成させる

ファッションショー開催のメリット



利用者



障害者のファッションの
課題解決・社会発信



主催者



アダプティブファッションを広める活動を多くの人に知ってもらう
興味をもってもらう



企業



社会問題への取り組みで
イメージアップ
企業同士のマッチング

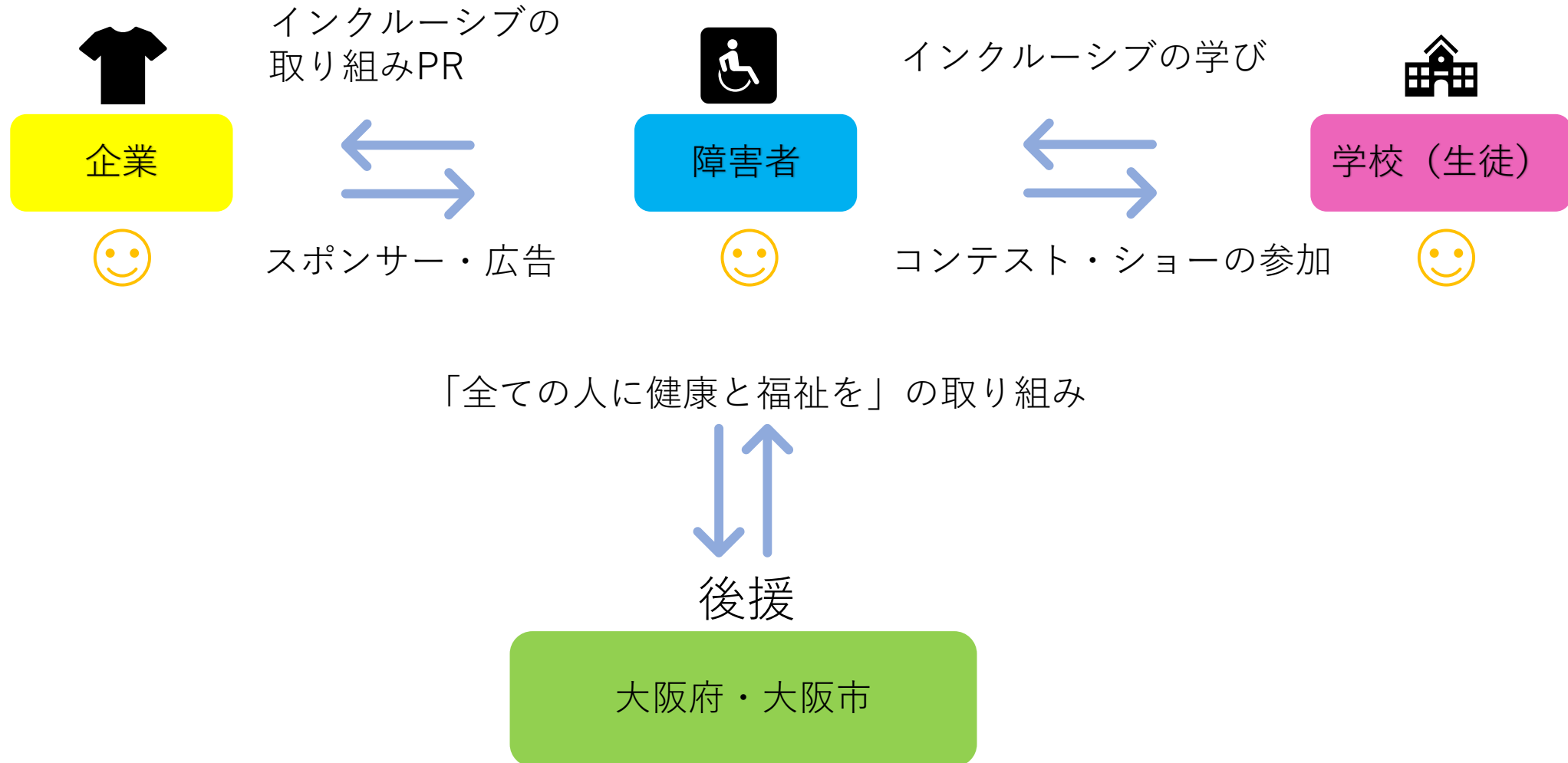


学校（生徒）



未来を背負う学生の
社会問題への学び

三方の幸せ



最後に

わたしたちは、このプロジェクトがすべての人にとって重要な事であると考えています。

わたしたちは人より困難な状況でも懸命に人生を歩んでいる方々を尊敬しています。健常者と呼ばれる者も、いつ、自分が、大事な人が、障害を抱えることになるかわかりません。

その時、すこしでも生きやすい社会である必要があります。

たった一回きりの人生、少しでもキラキラしたものでありたいと願うことは一生懸命に生きている人は願って良いはずです。叶える努力をして良いはずです。

この企画がそんな社会の第一歩になれることを願っております